

2026(令和8)年度 科目別教育内容



佐賀県農業大学校

目 次

科	目 名	ページ
1 国語(小論文)	2 実用数学	1
3 くらしと法律	4 外国語(英語Ⅰ)	2
5 キャリアプランニング	6 体育	3
7 農業と化学		4
8 国語(小論文Ⅱ)選択	9 外国語(英語Ⅱ)選択	5
21 作物総論	22 野菜総論	6
23 花き総論	24 果樹総論	7
25 畜産総論	26 土壌肥料総論	8
27 植物防疫農薬総論	28 農業機械Ⅰ	9
29 環境と調和のとれた農業	30 気象と農業	10
31 アグリビジネス	32 農業経営及び農業金融	11
33 農業法人	34 農業生産工程管理	12
35 農業協同組合	36 農畜産物貿易と流通	13
37 農業政策	38 農業法規	14
41 農業実験	42 農業機械操作・整備演習	15
43-1 農畜産物加工演習(1年)	43-2 農畜産物加工演習(2年)	16
44 農畜産物販売演習	45 農業簿記演習	17
46 パソコン演習・統計		18
51 農家派遣研修・流通研修	52 先進地事例調査	19
61 土壌・肥料各論	62 病害・害虫・雑草各論	20
63 植物生理	64 植物育種	21
65 農業機械Ⅱ・スマート農業・園芸施設		22
65-1 農業機械Ⅱ・スマート農業		23
66 作物現地講義	66 野菜現地講義	24
66 花き現地講義	66 果樹現地講義	25
67 作物栽培各論Ⅰ(豆類)	67 野菜栽培各論Ⅰ(露地)	26
67 花き栽培各論Ⅰ	67 果樹栽培各論Ⅰ	27
68 作物栽培各論Ⅱ(麦類)	68 野菜栽培各論Ⅱ(施設)	28
68 花き栽培各論Ⅱ	68 果樹栽培各論Ⅱ	29
71 園芸農産専攻実習		30
72 プロジェクト研究1	73 プロジェクト研究2(卒業論文)	31
81 家畜栄養	82 畜産環境保全	32
83 家畜衛生	84 家畜解剖	33
85 家畜生理	86 家畜育種	34
87 飼料作物	88 家畜繁殖	35
89 家畜飼養各論Ⅰ(肉牛・乳牛)	90 家畜飼養各論Ⅱ(養豚・養鶏)	36
91 家畜人工授精実習	92 畜産専攻実習	37
93 畜産経営		38
101 専科PBL演習		39

番号	1	科目名	国語（小論文）		区 分	教養科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	1 小論文に関する基礎知識を習得する。 2 小論文を書く際の出題パターンを知り、自分の意見を簡潔に述べる技法を習得する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数			担当 講師名等	
							講 義	演 習	実 験		実 習
	小論文のための文章講座						10				外部講師
	1 文章を書くことは「伝えたいことを伝えるように伝えること」			1 読む人に伝わるように配慮する 2 伝わる文章の書き方							
	2 「伝わる文≡読みやすい文≡分かりやすい文」とは、どのような文章か			1 自分でできるトレーニング方法							
	3 作文の書き方と小論文の書き方は違う			1 小論文は論文にふさわしい内容・構成・表記が必要 2 小論文の書き方・手順							
4 小論文は何をどのように書くか			1 構成のパターン例 2 結論（主張の要点）から書き始める 3 読み直して修正し、仕上げる：推敲 4 小論文を書く練習を始めよう								
使用教材	オリジナルテキスト										
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況										

番号	2	科目名	実用数学		区 分	教養科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	科学の基礎である数学の知識や技能を高めるとともにそれらを情報化時代の各専門分野に活用する態度と能力を養う。										
指導内容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数		担当 講師名等		
							講 義	演 習			実 験
	1 数学の歴史			1 農業における歴史的な数学のエピソードとしての太閤検地			1				外部講師
	2 数量の計算と換算			1 色々な単位（尺貫法、メートル法等）長さ、面積、体積、重さ			1	1			
	3 基礎的計算力の養成 その確認と演習			1 方程式 2 関数とグラフ 3 速さ、割合 4 図形とその計算（面積、体積）			1 1 1 1	 1 1 1			
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	3	科目名	くらしと法律		区 分	教養科目（共通科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	私達は争いを起こしたり、争いに巻き込まれることがあります。私法という法律は、そのような争いを権利と義務の関係として解釈するルールです。権利にはどのようなものがあり、どのようにして実現されるのかを知る。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等	
					講 義	演 習	実 験	実 習		
	1 法律とは何か		1 法と道徳 2 公法・私法・公私総合法 3 日本国憲法と基本的人権の保障		1				外部講師	
	2 権利・義務の主体		1 自然人・法人・制限能力者		2					
	3 物に関する権利 ① 債権 ② 不法行為、損害賠償		1 物の種類と財産権 2 用益物権・占有権・担保物権 3 無体財産権 4 工業所有権・著作権		2					
	4 他人に求める権利 ① 債権		1 法律行為の無効と取り消し 2 法律行為（契約）による債権・債務の発生 3 債権の担保		2					
	5 物の売買・貸借と法律		1 動産と不動産・登記		2					
6 親族・財産相続		1 親族の範囲・婚姻・親子 2 相続・遺言・遺留分		1						
使用教材		「ビジネス法規」（実教出版）								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	4	科目名	外国語（英語Ⅰ）		区 分	教養科目（共通科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	1. 基礎的な英会話に親しませる 2. 農業に関する英単語や表現の定着									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 Daily conversation (日常会話)		1 挨拶 2 自己紹介 3 学校 4 海外の家庭 5 海外の文化 6 公共の場所 (ショッピング・銀行・レストラン・病院・ホテル等)			8				
	2 Agricultural information (農業情報)		1 海外の農場について 2 農業用語の習得 3 農業に関する表現の学習			2				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験・学習態度、出席状況								

番号	5	科目名	キャリアプランニング	区 分	教養科目（共通科目）				
課 程	全課程	専 攻	全専攻	学 年	1・2	総コマ数 (時間数)	12・10 (18)・(15)	単位数	1
到達目標	自己を理解し、今後の進路に向けてキャリアプランをたて、進路実現を目指す。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	【1年生】								
	1 自己形成支援		1 社会人としてのコミュニケーション力養成		2				外部講師
	2 キャリア教育		1 就職・就農支援 ・ 就職の現状と今後取り組むべき方策		1				農業大学校 外部講師
			・ 会話のコツ		1				
			・ 自己分析		1				
			・ 自己PR作成講座		1				
			・ 実習（流通現場研修）のマナー講座		1				
			・ 履歴書の書き方		1				
		・ 面接対策講座		1					
		2 先輩及び農業経営体等の講話 農業法人の現状について 本校OBによる講話 海外農業事情		2				外部講師	
				1				農業経営課 外部講師	
【2年生】									
1 キャリア教育		1 就職・就農支援 ・ 履歴書作成 ・ 就職活動の方法と実践 ・ 労働関係法		1 3 1				外部講師	
2 就農活動		1 就農計画		1				農業大学校	
		2 就農支援		1				農業経営課	
		3 社会人としての身だしなみ、マナー		1				外部講師	
		4 先輩及び農業経営体等の講話 農業法人の現状について 本校OBによる講話		2				外部講師	
使用教材	オリジナルテキスト								
評価の要素	学習態度・出席状況								

番号	6	科目名	体育	区 分	教養科目（共通科目）					
課 程	全課程	専 攻	全専攻	学 年	1・2	総コマ数 (時間数)	23 (34.5)	単位数	2	
到達目標	運動の合理的な実践を通じて健康の増進と体力の向上を図る。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 集团的スポーツ ※競技は学生が選択		1 サッカー 2 ロードレース 3 バドミントン 4 卓球 5 バスケットボール 6 バレーボール ※近県大会と九州大会練習含む				21			農業大学校
	2 レクリエーション種目 ※内容は学生が決定		1 球技大会（校内スポーツ交流会、寮祭）				2			農業大学校
使用教材		各種競技に必要な用具								
評価の要素		学習態度・出席状況								

番号	7	科目名	農業と化学		区 分	教養科目（共通科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	農業における危険物に関する基礎知識を理解させるとともに、その取扱い、保管・管理方法を習得させる。 併せて、危険物乙種（４類）の資格取得を目指す。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等	
					講 義	演 習	実 験	実 習		
	1 危険物乙類4種取扱者資格 について		① 危険物に関する法令 ② 物理・化学 ③ 危険物の性質・火災予防・消火方法 ④ まとめ及び模擬試験		1	1			農業大学校	
					1	1				
					2	2				
					1	1				
使用教材		「危険物取扱者テキスト乙種４類」（実教出版）								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	8	科目名	国語（小論文Ⅱ）選択	区 分	教養科目（共通科目）					
課 程	全課程	専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	1 小論文に関する基礎知識を習得する。 2 小論文を書く際の出題パターンを知り、自分の意見を簡潔に述べる技法を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	小論文基礎講座					10				外部講師
	1 小論文は「論理の展開」		1 「何」を「どのように」書くべきか							
	2 小論文のルールとマナーを守る		1 設問の条件をすべて守る 2 文章は「書き言葉」「常体」で書く 3 原稿用紙のルールを守る							
	3 小論文を書く手順		1 設問把握⇒メモづくり⇒ 構成決め⇒執筆⇒推敲							
	4 出題形式を知り、出題傾向に応じて対策		1 テーマ型小論文 2 課題文型小論文 3 データ型小論文							
	5 時代のキーワード：社会の動きに関心を持つ		1 現在社会の主なキーワード 2 専門分野：農業関連の主なキーワード							
	6 試験に向けて準備を進める		1 自分自身について理解を深める 2 「社会に貢献する」という意識を持つ 3 文章を書くことになれる 4 表現力をつける 5 志望先の試験の出題傾向を探って、準備を進める							
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	9	科目名	外国語（英語Ⅱ）選択	区 分	教養科目（共通科目）					
課 程	全課程	専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 （時間数）	10 （15）	単位数	1	
到達目標	1. 英語の発音の特徴や地域差を知る 2. 英語の効果的な学習方法を身につける									
指導 内容	大 項 目 （単 元）		小 項 目 （教授内容）			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 English Pronunciation （英語発音）		1 挨拶 2 自己紹介 3 英語発音の特徴 4 自己紹介（学習した内容をふまえて） 5 英語発音の地域差 6 発音記号 7 リスニング練習			2	2			
	2 How to learn English （英語学習の方法）		1 単語帳を活用した学習方法 2 SNS等を活用した学習方法 3 AIを活用した学習方法 4 TOEIC等を活用した学習方法			2	4			
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	21	科目名	作物総論		区 分	専門科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	作物の生産と消費の動向を基調とし、作物の生理・生態の基礎及び水稻栽培に関する基本技術を習得する。また、複合経営のなかの水田経営のあり方を理解する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 作物の概要			1 作物の生産と消費の動向 2 品種の育成と普及 3 作物の生理・生態			2				
	2 水稻の栽培			1 稲作の現況と問題点 2 水稻の生育診断とその活用方法 3 良質米生産の基本技術 4 水稻生産の改善技術 5 複合経営における水稻作のあり方 6 大規模経営の取組			5				
	3 大豆の栽培			1 大豆栽培の基本技術 2 大豆の用途と流通の現状 3 水田転作作物としての大豆の役割			1				
	4 麦の栽培			1 高品質麦生産の基本技術 2 麦の品質向上対策 3 用途別需要と流通の現状			2				
使用教材		オリジナルテキスト、「作物栽培の基礎」（農文協）									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	22	科目名	野菜総論		区 分	専門科目（共通科目）					
課 程		全課程	専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		野菜園芸の発達と現状のあらましについて理解するとともに、主要野菜の栽培方法を習得し、野菜園芸経営を展開する能力を養う。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 野菜の生産と利用			1 生産の推移と動向 2 消費の推移と動向 3 野菜の流通機構			1				
	2 野菜栽培の生理生態			1 生育と品質 2 生産と利用 3 環境管理			4				
	3 主要野菜の栽培方法			1 イチゴ 2 タマネギ、キャベツ、レンコン 3 キュウリ、アスパラガス 4 トマト、ナス			4				
	4 野菜園芸の経営			1 野菜園芸経営の現状 2 今後の経営の方向			1				
使用教材		オリジナルテキスト、「野菜栽培の基礎」（農文協）									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	23	科目名	花き総論		区 分	専門科目（共通科目）						
課 程		全課程	専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1		
到達目標		花き園芸の基礎や生産と消費の動向を学習し、花きの栽培技術や経営能力の向上を図る。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
							講 義	演 習	実 験	実 習		
	1 花き生産の現状			1 全国と佐賀県 2 花きと花き産業			2					農業大学校
	2 人間生活と花き			1 人間生活と花き 2 花きの種類・品種と名前 3 花きの利用とデザイン			1					
3 花きの特性と栽培・利用			1 特徴と観賞性 2 花きの成長・開花と環境 3 花きの繁殖方法 4 花きの育種 5 花きの品質と品質保持			7						
使用教材		オリジナルテキスト、「草花栽培の基礎」（農文協）										
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況										

番号	24	科目名	果樹総論	区 分	専門科目（共通科目）				
課 程	全課程	専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	果樹園芸の基礎知識を学習し、果樹の栽培特性・栽培技術を理解する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等 農業大学校
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 果樹の成長と果実生産		1 果樹の一生と一年 2 各器官の生長と果実生産		2				
	2 果樹栽培の基礎		1 果樹栽培の適地 2 年間の管理と良果多収の基本 3 枝の生長と整枝・せん定 4 基本になる栽培管理技術 5 かん水・施肥 6 果樹園の開設 7 施設栽培・高品質果栽培 8 貯蔵・加工		4				
	3 落葉、常緑果樹栽培 の基礎		1 落葉果樹の栽培・利用 2 常緑果樹の栽培・利用		2 2				
使用教材		オリジナルテキスト。「果樹栽培の基礎」（農文協）							
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	25	科目名	畜産総論		区 分	専門科目（共通科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	家畜飼育の基礎知識を学び、農業の中の畜産の位置付けについて理解する。また、各家畜の生理・生態と飼育を理解する									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 畜産の役割と動向		1 人間の生活と畜産 2 日本畜産の特徴と動向			1				農業大学校
	2 家畜の生理・生態と飼育環境		1 家畜の生理・生態と飼料 2 家畜の飼育環境とその調整 3 家畜ふん尿の処理と有効利用			2				
	3 飼料の生産と利用		1 飼料作物の特徴、種類と利用 2 草地の維持管理 3 飼料作物の調整と貯蔵			2				
	4 家畜飼育の実践		1 各家畜の品種と改良 2 各家畜の飼育方式と施設・設備 3 各家畜の生理と飼育技術 4 各家畜の衛生と病気			4				
	5 畜産経営と諸施策		1 畜産における情報の役割と種類 2 生産振興・価格安定対策			1				
使用教材	オリジナルテキスト、「家畜飼育の基礎」（農文協）									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	26	科目名	土壌肥料総論		区 分		専門科目（共通科目）			
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標		土壌肥料の基礎知識を習得するとともに各種土壌の現状と土づくりの方策について理解する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 土壌の生成と分類		1 物質循環と土 2 土性、粘度、腐植 3 土壌微生物 4 土壌水分			2				農業試験研究 センター
	2 土壌の性質		1 土壌の理化学性			2				
	3 土壌有機物		1 有機物と土壌改良			3				
4 肥料及び土壌診断		1 各種肥料の分類と特徴 2 土壌診断			3					
使用教材		オリジナルテキスト、「土と微生物と肥料のはたらき」（農文協）								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	27	科目名	植物防疫農薬総論	区 分	専門科目（共通科目）					
課 程	全課程	専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	1. 農薬に関する基礎知識を習得する。また、関連法規についても理解する。 2. 農薬等の化学物質で特に毒性の強い毒物・劇物に関する知識や取扱い技術を習得する。 3. 作物に害をおよぼす病害虫の一般的な生理・生態について理解し、作物保護の方策・技術に関する基礎的な能力を養う。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	農薬									農業技術防除 センター
	1 農薬の種類・特性		1 農薬の種類と物理化学的性状及び作用機作			4				
	2 農薬の安全性評価		1 農薬の安全性評価の仕組み 2 農薬の残留とその安全性							
	3 関係法規 ① 農薬取締法 ② 毒物及び劇物取締法 ③ 食品衛生法		1 農薬取締法の概要 1 毒物及び劇物取締法の概要 1 食品衛生法等の関連法規							
	4 農薬の安全・適正使用		1 安全使用の基本事項 2 安全使用のための知識 3 農薬散布時の飛散防止対策							農業試験研究 センター
	植物防疫									
	1 病気		1 植物の病気 2 病気の種類と性質 3 病気の発生生態 4 病気の診断 5 病気の防除方法 6 殺菌剤耐性と防除対策 7 病害防除と環境保全型農業			3				
	2 害虫		1 害虫の種類と性質 2 害虫の生理・生態的特徴 3 害虫の防除方法 4 殺虫剤抵抗性と防除対策 5 害虫の総合的防除			3				
使用教材		「農薬概説」（日本植物防疫協会）、防除指導手帳（全国農村教育協会）								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	28	科目名	農業機械Ⅰ		区 分	専門科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		農業機械に関する基礎知識を理解する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 農業機械の発達			1 農業の機械化 2 農業機械の利用とその現状 3 農業機械と安全作業			4				農業大学校
	2 トラクターの構造と操作			1 トラクターの構造と整備 2 トラクターの操作と安全作業			3				
	3 原動機の構造と整備			1 エネルギーと原動機 2 内燃機関 3 電動機 4 伝道装置			3				
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	29	科目名	環境と調和のとれた農業		区 分	専門科目（共通科目）						
課 程		全課程	専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1		
到達目標		・農業の環境保全機能を活かし、生産性と調和等に留意しつつ、化学肥料、農薬の一層の効率的利用等を通して、環境負荷をできる限り軽減するような持続的農業のあり方を理解する。 ・さらに、畜産における環境対策の概要についても理解する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
							講 義	演 習	実 験	実 習		
	1 環境保全型農業の制度			1 環境保全型農業とは 2 有機農業 3 佐賀県特別栽培農産物登録制度 4 みどりの食料システム戦略 5 各種事業について			4					農業経営課
	2 環境保全型農業の技術			1 環境保全型農業の技術 2 化学肥料・農薬等の効率的利用 3 環境保全型農業の取組事例			4					農業試験研究センター
	3 畜産における環境対策			1 畜産環境対策と関連法令 2 畜産と耕種との有機的連携			2				畜産課	
使用教材		オリジナルテキスト										
評価の要素		筆記試験・学習態度・出席状況										

番号	30	科目名	気象と農業		区 分		専門科目（共通科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	気象に関する基礎知識を習得するとともに農作物と気象の関係について理解する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 我が国の気象と農業			1 気象と農業の関わり 2 気象観測項目と主要気象要素 3 異常気象 4 地球温暖化			2				
	2 水に関わる気象			1 降水の観測方法 2 天気予報の見方 3 蒸発散 4 土壌水分とストレス			1				
	3 日射・放射に関わる気象			1 日射・放射の観測方法 2 作物栽培と日射の影響 3 放射冷却と対策			1				
	4 風に関わる気象			1 風の観測方法 2 風の吹き方 3 台風・竜巻 4 風による農業災害と対策			2				
	5 農地の気象と調節方法			1 農地の気象変化 2 農地における気象環境の制御			2				
	6 施設栽培と環境調節			1 光環境と調節 2 温度環境と調節 3 二酸化炭素調節の効果			1				
	7 畜産と気象			1 家畜の生理と気象 2 暑熱対策			1				
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	31	科目名	アグリビジネス		区 分	専門科目（共通科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標		1. 6次産業化の取り組みや支援策等について学ぶ 2. 食の安全・安心を求める社会的要請に農業経営者として対応しうる能力を習得する。 3. 農業をビジネスとして捉え、先進的な農業経営等を実践し、法人等の組織や地域農業をけん引できる経営革新能力の向上を目指す。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 食の安全・安心			1 食の安全・安心について 2 食品表示について（食品衛生法とJAS法）		2				外部講師
	2 食育			1 食育とは 2 食育の考え方と進め方			4			
3 農業の6次産業化			1 6次産業化とは何か 2 県内での取り組みについて ① 農産加工 ② 農家レストラン ③ 農家民宿 ④ グリーンツーリズム							
			3 国・県における6次産業化の取り組み状況 4 産業イノベーションセンターの概要 5 6次産業化の支援策		4				農業経営課	
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、レポート、学習態度、出席状況								

番号	32	科目名	農業経営及び農業金融		区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	園芸農産課程		学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	農業経営を構成している経営要素と性質並びに組織経営体の設立・運営等を理解し、経営者として経営の計画と運営に必要な能力を養う。また、農業簿記の基礎についても学ぶ									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 農業経営		1 農業経営管理（経営者能力、経営手法等） 2 農業経営計画 （経営目標と戦略、改善計画の策定） 3 農業経営診断・評価分析 （経営成果、状況の把握と課題の明確化）			6				農業技術防除センター
	2 農業制度金融		1 農業金融の特質 2 農業金融機関の種類 3 農業制度金融の役割と種類 4 農業信用保証制度のしくみ			2				生産者支援課
	3 農業共済制度の概要		1 農業共済制度の概要 2 収入保険制度の概要			2				生産者支援課
使用教材		「わかる」から「できる」へ複式農業簿記実践テキスト」（全国農業会議所）、オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	33	科目名	農業法人		区 分	専門科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	農経営の改善を図る上で有効な手段となる「農業経営の法人化」の概要や法人設立手続き、法人に係る税、資金調達、労務管理などについて習得する。										
指導 内容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
	1 農業法人とは 2 農業経営の法人化			1. 農業法人の形態について 2. 農業法人の現状について 3. 農地所有適格法人について 1. 法人化のメリット等について 2. 法人の設立と留意点 3. 集落営農法人について 4. 経営者としての心構えについて 5. 法人の労務管理と福利厚生			講 義	演 習	実 験	実 習	
							5				
							5				外部講師
使用教材		「農業法人の設立」（全国農業会議所）									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	34	科目名	農業生産工程管理		区 分	専門科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	農業生産工程管理（GAP）の基本的な考え方や規範の内容及び先進事例を学ぶことで、GAPの必要性を理解するとともに、実際の現場で応用できるような知識を習得する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 GAPとは			1 GAPとは何かを理解する			1				
	2 次世代につなげる農業			1 食品の安全を守るために 2 農業者ができること 3 競争力のある農業へ			1				
	3 GAPがもたらすメリット			1 GAPの目的 2 GAPの実施から得られるもの 3 GAP認証が生まれた背景			2				
	4 GAPの実施に向けて			1 PDCAの重要性 2 ルール作りの重要性 3 GAPの5つの柱			2				
	5 事例から問題点を考える			1 食品の安全を確保する 2 環境を保全する 3 労働者の安全を守る 4 労働者の人権を守る 5 農業経営の効率化・充実を図る			3				
6 理解度確認テスト			1 理解度確認テスト			1					
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験・実技試験（演習）・学習態度・出席状況									

番号	35	科目名	農業協同組合		区 分	専門科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		J Aへの理解を深める。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
						講 義	演 習	実 験	実 習		
	1 J Aのあらまし		1 J Aとは 2 日本・世界の協同組合 3 協同組合と株式会社の違い 4 協同組合原則			2					外部講師
	2 J Aの生い立ちと歩み		1 協同組合の誕生 2 世界の農業協同組合の生い立ち 3 日本の農業協同組合の生い立ち 4 J Aの歩み			2					
	3 J Aの組織・運営		1 J Aの組織 ① 組合員 ② J Aの種類 2 J Aの運営 ①組合員の権利と義務 ②運営機関 ③組織活動 ④組織機構 ⑤ J Aグループ			2					
4 J Aの事業と活動		1 J A事業の特徴 2 J A事業の種類 3 J A事業の内容			4						
使用教材		オリジナルテキスト、「私たちと J A」（J A全中）									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	36	科目名	農畜産物貿易と流通		区 分	専門科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		農産物貿易に関しては世界における農産物の需給と貿易の特徴的な動向と我が国の農業や社会に与える影響について学ぶ。また、農産物流通に関しては流通のしくみと機能・役割並びに農産物流通に関する諸問題について理解を深め、農業経営の改善に役立てる。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 農産物の流通 ① 流通とは何か			1 消費と生産と流通 2 流通の社会的役割 3 流通の種類			2				流通・貿易課
	② 流通のしくみと機能			1 流通の仕組み 2 流通の諸機能 3 卸売業者の役割							
	③ 農産物流通の問題			1 安全性問題 2 輸入増大問題 3 環境問題							
2 農産品の輸出			1 農業を巡る国際情勢について 2 日本の農産品の輸出 3 農林水産物・食品輸出の状況 4 海外販売開拓の事例			4				外部講師	
3 現場講義			1 市場の仕組み ①青果物 ②農畜産			4				農業大学校	
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、レポート、学習態度、出席状況									

番号	37	科目名	農業政策		区 分	専門科目（共通科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		1. 農業・農村の情勢及び国や県の農業政策について学ぶ。 2. 先進的な農業経営体（個別、組織等）の事例について学ぶ。 3. 鳥獣被害の現状と対策について学ぶ。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	農業政策 1 農業政策の基礎			1 国の農業政策について ① 食料・農業・農村基本法及び関連法について ② 国の農業施策について 2 本県の農業政策について ① 佐賀県の農業振興計画について ② 佐賀県の農業施策について			2				農政企画課
	2 農福連携			1 農福連携の概要について 2 農福連携に必要な考え方について 3 作業を依頼する際の留意事項について				4			農業経営課
	3 鳥獣被害対策			1 鳥獣被害の状況について 2 鳥獣の特性と効率的防除について 3 地域ぐるみの被害対策について 4 現地講義				4			農業技術防除センター
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、レポート、学習態度、出席状況									

番号	38	科目名	農業法規	区 分	専門科目（共通科目）						
課 程	全課程	専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	12 (18)	単位数	1		
到達目標	1. 農業経営の基盤となる農地の基本的な法規や権利の調整などについて学ぶ。 2. 農業生産の基盤となる農地の整備や水利・農業基盤関係施設などについて学ぶ。 3. 農業関係の知的財産の基本を学ぶとともに、具体的事例を基にグループ演習を行う。 4. 農業金融の特質と制度資金、災害時に活用できる農業共済制度について学ぶ。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)	小 項 目 (教授内容)				教育形態別コマ数				担当 講師名等	
						講 義	演 習	実 験	実 習		
	◎農業法規										
	1 農地の利用調整について	1 農業振興地域の整備に関する法律 2 農地法 3 農業経営基盤強化促進法				2 2					農政企画課 農業経営課
	2 農業農村整備事業について	1 農業農村整備事業の概要 2 農地等の防災保全 3 農村環境の整備 4 生産基盤の整備 5 施設の維持管理				2	2				農山村課 農地整備課
3 農業関係の知的財産 の管理について	1 特許法、種苗法（グループ演習を含む） 2 家畜遺伝資源法 3 商標法を中心に（グループ演習を含む）				2	2			外部講師		
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、レポート、学習態度、出席状況									

番号	41	科目名	農業実験		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	20 (30)	単位数	1	
到達目標		○バイオテクノロジーの開発利用状況、花、野菜等組織培養に関する基礎知識や技術を習得する。 ○栄養診断に係る技術に係る基礎技術を習得する。 ○雑草の形態観察等を通し、診断できる技術を養う。 ○水田および施設土壌の特徴を知り、肥料や土改材、堆肥などを投入することで生じるpHやEC、塩基類の変化を確認し、土壌への影響を把握する。 ○病害・害虫の形態を観察し、診断できる能力を養う。									
指導内容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数		担当 講師名等		
							講 義	演 習			実 験
	◎バイオテク実験 1 遺伝子解析実験			1 遺伝子工学について 2 PCR技術の利活用 3 実験器具の取扱い方法 4 実験器具および試薬の調整 5 キクの葉からDNAを抽出 6 キクウイロイドに関する遺伝子をPCRにより増幅 7 UV照射により結果の観察および考察					6		農業試験研究 センター
	2 花粉形態の観察			1 実験器具の取扱い方法 2 花粉観察							
	◎野菜栄養診断			1 野菜の生育調査 2 体内窒素濃度の測定					2		
	◎作物雑草診断			1 水稲圃場の雑草観察と同定 2 大豆圃場の雑草観察と同定					2		
	◎土壌肥料実験			1 1) 土壌分析の意義 2) pH・ECの測定					2		
				2 1) 窒素の役割と種類 2) 無機態窒素の測定					2		
				3 土壌の三相分布					2		
	◎病害虫実験			1 病害診断 1) 形態観察 2) 診断 2 害虫診断 1) 形態観察 2) 診断					2 2		
使用教材		オリジナルテキスト、培養器具、A4ノート(無地)、顕微鏡、土壌分析器具									
評価の要素		実技試験、レポート評価、学習態度、出席状況									

番号	42	科目名	農業機械操作・整備演習		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1・2	総コマ数 (時間数)	26・26 (39)・(39)	単位数	2・2
到達目標	1．トラクタの基本操作法を習得する。 2．トラクタのけん引操作法を習得する。 3．農業機械の基本的な操作と農作業事故防止対策を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数		担当 講師名等	
							講 義	演 習	実 験	実 習
	農業機械操作演習									
	1 トラクタの基本運転 (1年)			1 トラクタの操作法 2 安全確認の方法 3 道路交通法に基づいた道路走行 4 その他農業機械の操作方法				26		
	2 トラクタのけん引運転 (2年)			1 けん引操作方法 2 安全確認の方法 3 道路交通法に基づいた道路走行 4 その他農業機械の操作方法				26		
使用教材		専用教材、トラクタ、ロータリー、草刈機、工具								
評価の要素		実技試験、資格取得状況、学習態度、出席状況								

番号	43 - 1	科目名	農畜産物加工演習		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	12 (18)	単位数	1	
到達目標		食品衛生及び農畜産物を使った食品加工に関する基礎的な知識や技術を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 農畜産加工に関する基礎知識			1 食品衛生法、食品表示に関する基礎知識 2 衛生管理に関する基礎知識			1 1				
	2 穀類・野菜・果実・畜肉の加工・包装技術			1 漬け物加工 2 製粉・乾燥 3 惣菜加工 4 ソース加工 5 菓子加工 6 乳製品・畜肉の加工				1 1 2 2 2 2			
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		演習成果、学習態度、出席状況									

番号	43 - 2	科目名	農畜産物加工演習		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	12 (18)	単位数	1	
到達目標		農畜産物の食品加工技術及び商品づくりの基礎知識、包装・ラベル作成等を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 穀類・野菜・果実・畜肉 の加工・包装技術			1 加工室の管理 2 製粉・乾燥 3 惣菜加工 4 ソース加工 5 菓子加工 6 漬物加工				1 1 2 2 4 1			農業大学校
	2 商品づくりの基礎知識			1 包装・ラベル作成・原価計算・売価計算				1			
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		演習成果、学習態度、出席状況									

番号	44	科目名	農畜産物販売演習		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	14 (21)	単位数	1	
到達目標	農畜産物の販売のための、ネーミング、包装、ポップ、ディスプレイ、広報等の演習を通して、消費者にアピールする商品作りを学ぶ。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 販売促進			1 販売促進について 2 対象顧客の考え方 3 ライフスタイルとオケーションについて 4 企画書を作る			2	2			
	2 広告制作基礎技術Ⅰ			1 ネーミングとキャッチフレーズ 2 色の特徴と活用 3 広告文字の書き方 4 企画書を書く 5 P O P 広告案を作る			2	1 1			
	3 広告制作基礎技術Ⅱ			1 画面構成 2 P O P を作る			2			2	
	4 広告制作			1 農産物直売で実際に使う P O P を作る						2	
使用教材		オリジナルテキスト、マジック、定規									
評価の要素		演習成果、学習態度、出席状況									

番号	45	科目名	農業簿記演習		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標		1 農業簿記ソフトの基礎について学ぶ。 2 事例を活用し、収支データを伝票や帳簿で整理し、現状把握と経営実績を分析しながら、経営感覚を醸成する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数		担当 講師名等	
							講 義	演 習		
	1 農業経営演習			1 農業簿記ソフトを用いた会計処理の方法 (1) 青色申告の意義 (2) 複式簿記の基礎 (3) 入力のための初期設定 (4) 日々の仕分入力 (5) 決算処理				6		
2 農業簿記			1 複式簿記（おさらい） 2 貸借対照表と損益計算書 3 決算報告 4 財務諸表の活用方法				4			農業技術防 除センター
使用教材		オリジナルテキスト、『「わかる」から「できる」へ複式農業簿記実践テキスト』（全国農業会議所）								
評価の要素		演習成果、学習態度、出席状況								

番号	46	科目名	パソコン演習・統計		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標		◎パソコン演習 ・農業における情報処理の基礎を身につけ、パソコンの基本操作、ワープロ及び表計算機能を習得する。 ◎統計 ・試験区の設置方法の高度化を図るとともに、試験結果の有意性を判定する手法としての統計処理についての基礎知識を修得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等	
					講 義	演 習	実 験	実 習		
	◎パソコン演習					5			外部講師	
	1 パソコン操作の基本		1 パソコンおよびインターネットの基本 2 パソコン及びインターネットの活用							
	2 ワープロソフト		1 ワープロソフトの基礎 2 演習							
3 表計算ソフト		1 表計算ソフトの基礎 2 演習								
4 応用操作		1 データのまとめ、発表の方法 2 演習								
◎統計								農業大学校		
1 統計とは		(1)統計的手法と推測		1						
2 実験計画法について		(1)実験計画法とは (2)有意差検定について			2					
3 パソコンによる統計処理		(1)パソコンによる処理について			2					
使用教材		オリジナルテキスト、パソコン（パソコン教室）								
評価の要素		演習成果、学習態度、出席状況								

番号	51	科目名	農家派遣研修		区 分	現場研修				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1, 2	総コマ数 (時間数)	60・42 (90)・(63)	単位数	3・2
到達目標	先進農家における経営、生活体験を通して、農業者としてのあり方を体得し、農業に関する価値観を醸成する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 先進農家における体験学習		1 先進的技術の体験・学習 2 農家生活の体験 3 地域生産者組織の役割							農業士等
	2 経営手法の体得		1 販売手法 2 経営管理手法 1 年生 2 年生						56 40	
	3 報告とりまとめ		1 研修報告とりまとめ 1 年生 2 年生						4 2	
使用教材		実施要領・研修日誌								
評価の要素		体験レポート評価、学習態度								

番号	51	科目名	流通研修		区 分	現場研修					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	34 (51)	単位数	1	
到達目標	流通現場に学生を派遣し、流通の仕組みや消費動向、さらには農業生産との関わりを学ぶことで、農業経営者や指導者として求められるマーケティングやコミュニケーション、農業経営管理能力などを養い、資質向上を図る。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 流通研修			1 流通のしくみ 2 消費動向 3 販売体験						28	
2 報告とりまとめ			1 研修報告とりまとめ 2 研修報告発表						2 4		
使用教材		実施要領・研修日誌									
評価の要素		体験レポート評価、発表評価、学習態度									

番号	52	科目名	先進地事例調査		区 分	現場研修				
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	20 (30)	単位数	1
到達目標		農業のグローバル化、スマート化など国内の先進地の農業生産現場や関連施設の視察等を通じ、高度化する農業経営についての幅広い知見を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	先進地事例調査								16	農業大学校
	1 農業生産現場及び農業 関連施設の視察			1 先進的農業技術の視察等 2 市場等の視察						
	2 国内の文化施設や史跡、 農業の歴史などの見学			1 事例地域の農業の歴史等を知る						
3 その他農業体験等			1 農業体験施設等							
調査取りまとめ			1 事例調査結果とりまとめ					4		
使用教材		実施要領・研修日誌								
評価の要素		体験レポート評価、学習態度								

番号	61	科目名	土壌・肥料各論		区 分	専攻科目（共通科目）					
課 程	園芸農産		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	12 (18)	単位数	1	
到達目標		1. 作物栽培圃場の土壌改良について理解する。 2. 肥料の特性を知り、施肥技術について理解する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 土づくりと土壌診断			1 作物の生育に及ぼす土壌環境 2 作物診断と栄養診断 3 施肥の実際			6				農業試験研 究センター
	2 効率的な施肥技術			1 佐賀県の土壌及び用水の現状 2 分析データの読み方 3 分析結果に基づく施肥法			6				外部講師
使用教材		オリジナルテキスト、「土壌診断の読み方と施肥計算」									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	62	科目名	病害・害虫・雑草各論	区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	20 (30)	単位数	2
到達目標	1．作物の病害の発生予察と合理的防除法について理解する。 2．作物の害虫の発生予察と合理的防除法について理解する。 3．圃場における雑草の発生と合理的防除法について理解する。								
指導内容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	◎病害各論				6				農業技術防 除センター
	1 病害の発生生態		1 病害の概念と原因 2 病害の伝播と発病						
	2 病害の発生予察		1 病害の発生条件と発生予察						
	3 病害の防除対策		1 病害の防除技術						
	◎害虫各論				6				農業技術防 除センター 果樹試験場
	1 害虫の発生生態		1 害虫の概念と生理、形態						
	2 害虫の発生予察		1 害虫の発生予察						
	3 害虫の防除対策		1 害虫の防除技術						
	◎雑草各論								農業大学校
	1 雑草について		1 雑草の種類と特徴		2				
	2 除草剤について		1 除草剤の種類と特性		2				
3 その他の雑草管理		1 除草剤以外の雑草管理方法		2					
4 雑草の見分け方		1 フィールド演習（採取・観察等）			2				
使用教材	オリジナルテキスト、「植物生理学の基礎（農学基礎シリーズ）」（農文教）								
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	63	科目名	植物生理		区 分	専攻科目（共通科目）					
課 程	園芸農産		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		植物の生育に必要な養水分の役割と植物体の働きを理解し、作物栽培の基礎知識を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 植物の栄養生理			1 種子と発芽 2 植物細胞の構造と働き 3 根系の形態と機能 4 葉の形態と機能 5 植物体必須元素			4				
	2 物質生産			1 光合成・呼吸・蓄積			2				
	3 生長調節			1 植物ホルモン 2 生物・化学的生長調節 3 物理的生長調節			2 1 1				
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	64	科目名	植物育種		区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	園芸農産		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標		作物の品種と育種学及び採種について理解する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1	はじめに	1 農業における人と植物の関わり 2 育種学の発展の歴史			1 1				
	2	自殖性植物を対象とした育種	1 自殖性作物における育種の原理と方法 2 自殖性作物の育種の事例			1 1				
	3	遺伝子組み換え育種	1 遺伝子組み換え技術の原理と方法 2 遺伝子組み換え作物の現状			1 1				
	4	突然変異を利用した育種	1 突然変異育種の原理と方法 2 突然変異育種で育成された品種の事例			1 1				
	5	他殖性植物を対象とした育種	1 他殖性作物における育種の原理と方法 2 一代雑種（F1）を利用した品種の特徴			1 1				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	65	科目名	農業機械Ⅱ・スマート農業・園芸施設		区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	園芸農産		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	14 (21)	単位数	1
到達目標		1. 主要な農業機械について、その構造と利用方法を習得する。 2. 農業機械の効率の利用を図るため、利用計画や機械化体系の作成方法を習得する。 3. 施設園芸の現状と施設・資材の特徴、環境制御や省エネルギー等の技術を習得する。 4. スマート農業技術の基礎知識を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	農業機械Ⅱ									農業大学校
	1 作業機の構造と利用			1 主要な作業機の構造と利用方法 2 主要な作業機の点検と整備		2				
	2 農業機械の利用と機械化体系			1 農業機械の利用と機械化体系 機械化計画と機械化体系の作成		2				
	園芸施設									農業技術防除 センター
	1 施設園芸の発展			1 施設園芸の現状と展望 2 施設・資材の種類と特性		1				
	2 施設環境の制御技術			1 光環境制御 2 温度環境制御 3 湿度環境制御 4 二酸化炭素環境制御		2				
	3 施設園芸の省エネルギー対策			1 省エネルギー対策の考え方 2 省エネルギー技術		1				
	スマート農業									農業試験研究 センター
1 スマート農業の基礎			1 スマート農業とは（定義と種類） 2 スマート機器の種類と利用		2					
2 施設園芸の環境制御技術			1 環境制御技術の理論と実際 2 実地演習		2					
3 ドローンの運用			1 ドローン運用における注意点 2 ドローン運用体験		2				外部講師	
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	65 - 1	科目名	農業機械Ⅱ・スマート農業		区 分	専攻科目（共通科目）					
課 程		畜産	専 攻		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		1. 主要な農業機械について、その構造と利用方法を習得する。 2. 農業機械の効率的利用を図るため、利用計画や機械化体系の作成方法を習得する。 3. スマート農業の基礎知識を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	農業機械Ⅱ										農業大学校
	1 作業機の構造と利用			1 主要な作業機の構造と利用方法 2 主要な作業機の点検と整備			2				
	2 農業機械の利用と機械化 体系			1 農業機械の利用と機械化体系 機械化計画と機械化体系の作成			2				農業試験研究 センター
	スマート農業										
1 スマート農業の基礎			1 スマート農業とは（定義と種類） 2 スマート機器の種類と利用			2				外部講師	
2 施設園芸の環境制御技術			1 環境制御技術の理論と実際 2 実地演習			2					
3 ドローンの運用			1 ドローン運用における注意点 2 ドローン運用体験			2				外部講師	
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	66	科目名	作物現地講義		区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	露地野菜・農産（農産主）		学 年	2	総コマ数 （時間数）	10 （15）	単位数	1
到達目標	作物に関する新技術や経営・流通等に関するより高度な現地の事例を把握する。									
指導 内 容	大 項 目 （単 元）		小 項 目 （教授内容）			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 作物の新技術の実態把握		1 公設試等における作物関連の栽培技術や品種育成への取組			4				
	2 作物関連組織・団体・機関等事例調査		2 農業生産法人等の組織営農や農産物流通の取組に関する現地事例調査			4				
	3 農業機械・設備・施設等に関する最新情報		3 「さが農業まつり」等における作物関連機械等の最新情報			2				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		レポート評価、学習態度、出席状況								

番号	66	科目名	野菜現地講義		区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	施設野菜、露地野菜・農産（露地野菜主）		学 年	2	総コマ数（時間数）	10（15）	単位数	1
到達目標	野菜栽培を先進的に取り組まれている事例を把握する。 また、農業機械や施設・設備等に関する最新の情報を理解する。									
指導内容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 先進農家や先進技術及び新品種等の現地事例調査		1 農業法人や先進農家及び種苗会社や育苗センター等へ優良事例の取組を視察する。			4				
	2 試験研究機関等への先進技術や新品種等についての情報収集		1 農業試験研究センターにおける野菜関連の栽培技術や品種育成への取組			4				
	3 農業機械・設備・施設等に関する最新情報		1 「さが農業まつり」等における作物関連機械等の最新情報収集			2				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		レポート評価、学習態度、出席状況								

番号	66	科目名	花き現地講義		区 分	専攻科目（選択科目）					
課 程		園芸農産	専 攻	花き	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		花き栽培に関する技術を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 先進農家での取り組み事例			1 施設切り花・鉢花生産における栽培技術と経営について			6				
	2 花きの新技術や新品種に関する取り組み事例			1 農業試験研究センターにおける花き関連の栽培技術と品種育成に関する取組			2				
	3 農業関連の機器・資材について			1 「さが農業まつり」等における作物関連機械等の最新情報について			2				
使用教材		オリジナルテキスト									
評価の要素		レポート評価、学習態度、出席状況									

番号	66	科目名	果樹現地講義		区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	果樹		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	柑橘・落葉果樹栽培に関する技術を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 県内果樹生産者の取り組み について		1 果樹の経営状況について 2 近年現場に普及している最新技術 について 3 地域の特色を生かした観光農業の 取り組みについて			6				農業大学校
	2 県外における果樹栽培 状況について		1 果樹産地維持の取り組みについて			4				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		レポート評価、学習態度、出席状況								

番号	67	科目名	作物栽培各論Ⅰ（豆類）	区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	露地野菜・農産 （農産主）	学 年	2	総コマ数 （時間数）	10 （15）	単位数	1
到達目標	大豆の基礎生理を理解し、栽培に関する知識や技術を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 （単 元）		小 項 目 （教授内容）		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 大豆の現況		1 大豆とは 2 大豆こよみ		2				
	2 大豆栽培の実際		1 排水対策 2 土づくり（土壌改良） 3 種子の準備（種子消毒） 4 花芽形成						
	3 対策技術について		1 出芽 2 播種と湿害 3 具体的な排水対策技術 4 播種技術		2				
	4 大豆の管理		1 施肥 2 根・茎・葉 3 中耕培土 4 開花・結実 5 病虫害防除		2				
	5 防除など		1 雑草防除 2 その他		2				
	6 まとめ		1 土地利用型作物の経営について		2				
使用教材		オリジナルテキスト							
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	67	科目名	野菜栽培各論Ⅰ（露地）	区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	施設野菜、露地野菜・農産（露地野菜主）	学 年	2	総コマ数 （時間数）	10 （15）	単位数	1
到達目標		露地野菜類の特徴を理解する。また、栽培に関する知識や技術を習得する。							
指導 内 容	大 項 目 （単 元）		小 項 目 （教授内容）		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 性状と適応性		1 性状 2 気象条件 3 土壌条件		2				
	2 品種		1 品種の特性		2				
	3 栽培の要点		1 播種 2 育苗管理 3 定植 4 栽培管理 5 品質向上 6 病虫害		5				
	4 野菜経営について		1 野菜経営について 2 先進事例について		1				
使用教材		オリジナルテキスト							
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	67	科目名	花き栽培各論Ⅰ		区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	花き	学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	フラワー装飾に関する知識や技術を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 フラワー装飾		1 フラワー装飾の基礎知識 2 フラワー装飾技術の習得 ① アレンジメント ② 花束 ③ ブーケ			10				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、演習成果、学習態度、出席状況								

番号	67	科目名	果樹栽培各論Ⅰ		区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	果樹		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	落葉果樹の特性を理解し、栽培に関する知識や技術を習得する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 落葉果樹の栽培		1 本県の落葉果樹栽培と今後の動向 2 経営の現状と改善方向 3 開園の適地条件 4 生産技術 ① 繁殖（台木、接ぎ木） ② 品種、苗木の選定・植付 ③ 整枝、剪定 ④ 摘蕾、摘果（粒）、袋掛け ⑤ 土壌管理と施肥 ⑥ 収穫・貯蔵・出荷 ⑦ 気象条件			2 2 2 4				果樹試験場
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	68	科目名	作物栽培各論Ⅱ（麦類）	区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	露地野菜・農産（農産主）	学 年	2	総コマ数（時間数）	10（15）	単位数	1
到達目標	麦類に関する生産動向、生育の特長等を理解する。また、栽培法等に関する知識や技術を習得する。								
指導内容	大 項 目 （単 元）		小 項 目 （教授内容）		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 麦類生産の概況		1 麦類の需給と消費動向及び用途と今後の課題		1				農業試験研究 センター
	2 麦類の起源と品種特徴		1 麦の分類と形態及び生態特徴 2 麦類の品種と特徴		1				
	3 栽培の生理・生態		1 麦の種子と特徴 2 茎葉の形態と麦の生育 3 環境条件と麦の生育 4 麦の生理機能と生長 5 幼穂分化と開花授精及び子実の生育		1				
	4 栽培の基本		1 品種と生育特徴 2 生育管理と施肥 3 主な病害虫の発生病害と防除 4 品種向上を目指した収穫と乾燥調整技術		1				
	5 主な栽培管理		1 麦の収穫構成要素と栽培 2 ほ場の乾田化と播種 3 麦の生育と管理作業		1				
	6 栽培体系と災害回避技術		1 県内における麦類の主な栽培体系 2 災害の種類と被害回避技術		1				
	7 麦類栽培の実践事例		1 県内における麦作農家の実践事例 2 作況調査と麦の生育			2			
	8 穀類の加工と利用		1 穀類の加工特性と利用について			1			
使用教材		オリジナルテキスト							
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	68	科目名	野菜栽培各論Ⅱ（施設）		区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	施設野菜、露地野菜・農産（露地野菜主）		学 年	2	総コマ数（時間数）	10（15）	単位数	1
到達目標		施設野菜類の特徴を理解する。また、栽培に関する知識や技術を習得する。								
指導内容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 性状と適応性		1 性状 2 気象条件 3 土壌条件			2				
	2 品種		1 品種の特性			2				
	3 栽培の要点		1 播種 2 育苗管理 3 定植 4 栽培管理 5 品質向上 6 病害虫			6				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	68	科目名	花き栽培各論Ⅱ		区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	花き		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標		花きの栽培及び育種について、知識や技術を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 花きの栽培技術		1 品種の選定 2 温度の制御 3 施肥管理 4 整枝・選定 5 日長制御 6 二酸化炭素制御			5				農業試験研究 センター
	2 花きの育種		1 育種の目的 2 花の構造 3 花の色素 4 遺伝の法則 5 育種の方法			5				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、演習成果、学習態度、出席状況								

番号	68	科目名	果樹栽培各論Ⅱ		区 分	専攻科目（選択科目）				
課 程	園芸農産	専 攻	果樹		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標		柑橘栽培の基礎理論を理解し、栽培に関する知識や技術を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 温州みかん及び中晩生 柑橘の栽培		1 柑橘栽培の現況と動向 2 種類、品種の特性 3 開園、植栽、繁殖、更新 4 開花、結実、発育、肥大 5 収量構成要素と摘果・品質管理 6 土壌管理・施肥 7 災害・生理障害対策 8 採取・予措・貯蔵 9 整枝・剪定			5				
	2 経営、技術体系の確立		1 柑橘周年供給体制と栽培型 2 柑橘複合（種類、品種の組合せ）技術体系 3 施設栽培（ハウス、屋根かけ栽培）技術 4 果樹経営について			5				
使用教材		オリジナルテキスト								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	71	科目名	園芸農産専攻実習	区 分	実習				
課 程	全課程	専 攻	全専攻	学 年	1・2	総コマ数 (時間数)	364・361 (546)・(541.5)	単位数	16・16
到達目標	野菜、農産、果樹、花きに関する幅広い専門知識や生産技術の習得を目指すとともに、高い経営能力を有する農業者を養成する。								
指導内容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	【施設野菜】 1 施設野菜全般にわたる幅広い知識と県産主要施設野菜を中心に基本的な生産技術の習得を図る		・ イチゴ高設栽培、トマト、キュウリ及びナスの施設栽培技術の習得 ・ アスパラガス、ホウレンソウ等の雨よけ栽培技術の習得 ・ 施設環境制御技術の習得						
	【露地野菜・農産】 1 露地野菜や米・麦・大豆について基本的な生産技術の習得を図る		(露地野菜主) ・ タマネギ、キャベツ、ブロッコリー、レタス等の露地栽培の技術の習得 ・ 夏秋作野菜の検討 (農産主) ・ 水稻の生育特性及び栽培に関する基本技術の習得 ・ 麦・大豆等の水田転作作物の生育特性及び栽培に関する基本技術の習得						
	【果樹】 1 果樹全般にわたる広い知識とミカン、ナシ、ブドウなど県内の主要果樹を中心に基本的な生産技術の習得を図る		・ 常緑果樹、落葉果樹の生理・生態特性の把握 ・ 高品質果実・安定生産のための栽培技術習得 ・ 果樹経営特性の理解						
	【花き】 1 栽培から収穫、販売まで幅広い知識と生産技術、販売ノウハウを体系的かつ総合的に習得する		・ シクラメン等鉢物の生育特性と基本技術習得 ・ バラ等切り花栽培による基本技術習得 ・ フラワーアレンジメントの基本技術習得						
使用教材									
評価の要素		出欠、技術、勤怠、試問							

番号	72	科目名	プロジェクト研究 1		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	1	総コマ数 (時間数)	20 (30)	単位数	1	
到達目標	専攻実践学習等で体得した専門知識・技術の集大成として、専攻プロジェクトを総括することにより自己解決能力を醸成し、我が家の経営設計を描くことで経営者としての能力を養う。										
指導内容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 課題設定			1 個々の課題の抽出、選定 2 ねらい、到達目標の設定			4	2			
	2 調査研究の進め方			1 調査区の設定 2 耕種、作業計画の樹立				2 2			
	3 調査法・観察法			1 課題解決のための調査方法 2 計画の遂行、確認				2 2			
	4 データ、資料の収集			1 データの収集、分析 2 資料の収集、分析				2			
	5 結果の分析と評価・観察			1 結果の分析、取りまとめ 2 提示				4			
使用教材	パワーポイント、実習施設・機械 等										
評価の要素	取り組み態度、発表評価、内容・理解力・表現力・態度・実用性 等										

番号	73	科目名	プロジェクト研究2 (卒業論文)		区 分	専門科目（共通実験・演習科目）					
課 程	全課程		専 攻	全専攻	学 年	2	総コマ数 (時間数)	47 (70.5)	単位数	3	
到達目標	専攻実践学習等で体得した専門知識・技術の集大成として、専攻プロジェクトを総括することにより課題解決能力を醸成し、我が家の経営設計を描くことで経営者としての能力を養う。										
指導内容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 課題設定			1 個々の課題の抽出、選定 2 ねらい、到達目標の設定			6				
	2 調査研究の進め方			1 調査区の設定 2 耕種、作業計画の樹立				6			
	3 調査法・観察法			1 課題解決のための調査方法 2 計画の遂行、確認				6			
	4 データ、資料の収集			1 データの収集、分析 2 資料の収集、分析				6			
	5 結果の分析と評価・考察			1 結果の分析、取りまとめ 2 提示				15			
	6 卒業論文発表			1 発表（中間検討含む）			8				
使用教材	パワーポイント、実習施設・機械 等										
評価の要素	取り組み態度、発表評価、内容・理解力・表現力・態度・実用性 等										

番号	81	科目名	家畜栄養		区 分		専攻科目（共通科目）				
課 程	畜産		専 攻		学 年	1	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標		家畜に必要な栄養素とその代謝について理解し、家畜飼養における基礎的な能力を養う。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数			担当 講師名等	
							講 義	演 習	実 験		実 習
	1 家畜の栄養生化学			1 体成分と栄養素 2 栄養素の利用（消化吸収、代謝）			2				
	2 栄養所要量			1 所要量の決定			3				
	3 飼料と栄養素			1 エネルギー供給飼料 2 タンパク質供給飼料			2				
	4 各家畜の特性			1 食性の違いと栄養、飼料の種類			3				
使用教材		日本飼養標準「肉用牛」、オリジナルテキスト									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	82	科目名	畜産環境保全		区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	畜産		専 攻		学 年	1	総コマ数 (時間数)	14 (15)	単位数	1
到達目標		畜産・農業分野における環境保全と糞尿処理についての基礎的な知識を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 畜産環境保全概論		1 畜産環境保全の現状と対策 2 歴史、法律からみた環境保全			4				
	2 家畜糞尿の特性と処理利用 の基礎		1 家畜糞尿の特性 2 糞尿処理とその利用技術			5				
	3 堆肥化、水質汚濁・悪臭防 止技術		1 堆肥化、汚水処理の方法 2 悪臭対策の方法			5				
使用教材		教科書「家畜環境保全論」（養賢堂）								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	83	科目名	家畜衛生		区 分	専攻科目（共通科目）						
課 程	畜産		専 攻		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1		
到達目標	家畜衛生について理解し、家畜の生産性の改善・向上に必要な知識や技術を習得する。											
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
							講 義	演 習	実 験	実 習		
	1 家畜飼養と衛生管理			1 家畜衛生の役割 2 集団衛生 3 環境と家畜衛生			3					畜産試験場
	2 家畜の疾病と予防			1 疾病の発生と予防 2 感染症・非感染症 3 家畜伝染病予防法			4					
	3 関連する諸規則と制度			1 動物検疫の仕組み 2 最近の家畜伝染病			3					
使用教材		オリジナルテキスト										
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況										

番号	84	科目名	家畜解剖	区 分	専攻科目（共通科目）						
課 程	畜産	専 攻		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1		
到達目標	家畜の成長と生産に関与する消化器官・繁殖器官等の基礎的な知識を習得する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
						講 義	演 習	実 験	実 習		
	1 家畜解剖（各器官）		1 生殖器官（雌雄）の構造と働き 2 その他の器官と概要			4					畜産試験場
	2 配偶子の形成、性成熟及び性周期、受精と妊娠		1 精子及び卵子形成と生理 2 子宮、胎盤の構造と働き			4					
	3 消化器官の構造		1 食性・栄養素の違いと消化器官の差違 2 生産、維持・成長に係わる他の器官			2					
使用教材		教科書「家畜人工授精講習会テキスト（家畜人工授精師協会）」									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	85	科目名	家畜生理	区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	畜産	専 攻		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	家畜の生理について理解し、家畜飼養における基礎的な知識を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等 畜産試験場
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 消化		1 消化の仕組み 2 栄養の吸収		2				
	2 呼吸・循環		1 ガス交換 2 血液等の循環		1				
	3 生体内の情報伝達		1 神経及び感覚器 2 内分泌（代表的なホルモンについて）		1				
	4 体格		1 骨及び筋肉 2 発育		2				
	5 有害なものへの対応		1 異常の除去（免疫系、腎臓、肝臓） 2 創傷治癒		2				
6 家畜の行動・アニマル ウェルフェア		1 家畜が示す行動の分類と特徴 2 アニマルウェルフェア		2					
使用教材		オリジナルテキスト							
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	86	科目名	家畜育種	区 分	専攻科目（共通科目）					
課 程	畜産	専 攻		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1	
到達目標	家畜の改良に関する基礎知識と、具体的な方法や技術について理解する。									
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
						講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 育種と改良		1 繁殖と遺伝、選抜 2 能力・形質の評価 3 能力検定、品種登録			5				
	2 改良の方法		1 計画交配、人工妊娠 2 育種価、遺伝率 3 受精卵の活用			5				
使用教材		教科書「家畜人工授精講習会テキスト（家畜人工授精師協会）」								
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況								

番号	87	科目名	飼料作物		区 分		専攻科目（共通科目）					
課 程	畜産		専 攻		学 年	1	総コマ数 (時間数)	14 (15.2)	単位数	1		
到達目標		牧草・飼料作物の栽培利用と畜産用機械・設備等の基礎的な知識を習得する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
							講 義	演 習	実 験	実 習		
	1 自給飼料の必要性			1 栄養性、経済性、安全性 2 草種、品種の特性 3 栽培方式と肥培管理法			5					畜産試験場
	2 牧草飼料作物栽培			1 機械化作業 2 収穫、調整貯蔵、加工・流通の特性			5					
	3 粗飼料の利用			1 家畜管理用機械設備			4					
使用教材		オリジナルテキスト										
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況										

番号	88	科目名	家畜繁殖		区 分	専攻科目（共通科目）					
課 程	畜産		専 攻		学 年	1	総コマ数 (時間数)	14 (15.2)	単位数	1	
到達目標	家畜の繁殖について理解し、生産、維持・増殖のための知識や技術を習得する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 生殖器解剖			1 牛、豚等の雌雄の生殖器解剖			2				
	2 神経・内分泌			1 性腺刺激ホルモン 2 卵胞・黄体ホルモン 3 その他のホルモン			2				
	3 雌の繁殖生理			1 発情周期とその制御・調節機構			2				
	4 雄の繁殖生理			1 性成熟と繁殖供用 2 精子形成と成熟牛豚の交尾・射精・精液			2				
	5 妊娠・分娩			1 牛の妊娠と分娩 2 豚の妊娠と分娩			4				
	6 総合学習・試験			1 総合学習 2. 試験			2				
使用教材		教科書「家畜人工授精講習会テキスト」									
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	89	科目名	家畜飼養各論Ⅰ（肉牛・乳牛）	区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	畜産	専 攻		学 年	2	総コマ数 (時間数)	14 (17.7)	単位数	1
到達目標	家畜（ウシ・乳・肉）の特性と飼養管理知識を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	【肉牛】								畜産試験場
	1 ウシの種類と飼い方		1 品種、飼養形態		2				
	2 肉牛の飼養標準		1 飼養の原理と飼養標準の利用		2				
	3 改良と登録		1 繁殖技術、育成技術、肥育技術 2 疾病対策と事故防止 3 品種登録と審査基準		2				
	【乳牛】								
	1 ウシの種類と飼い方		1 品種、飼養形態		2				
	2 乳牛の飼養標準		1 飼養の原理と飼養標準の利用		3				
	3 改良と登録		1 繁殖技術、育成技術、肥育技術 2 疾病対策と事故防止 3 品種登録と審査基準		3				
使用教材		教科書「ライフステージでみる牛の管理」（緑書房）共通							
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	90	科目名	家畜飼養各論Ⅱ（養豚・養鶏）	区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	畜産	専 攻		学 年	2	総コマ数 （時間数）	14 （17.7）	単位数	1
到達目標	家畜家禽（豚・鶏）の特性と飼養管理の知識を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 （単 元）		小 項 目 （教授内容）		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	【養豚】 1 豚の飼養形態と飼養標準		1 豚の品種と改良 2 飼料の配合と種類 3 繁殖技術、育成技術、肥育技術 4 疾病・防疫対策		2 2 2 2				畜産試験場
	【養鶏】 1 鶏の飼養形態と飼養標準		1 鶏の品種と改良 2 飼養形態、ふ化と育雛 3 鶏の生理と飼育技術 4 主な病気と対策		1 2 2 1				農業大学校
使用教材		教科書「家畜飼育の基礎（農文協）」、オリジナルテキスト							
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	91	科目名	家畜人工授精実習	区 分	実 習				
課 程	畜産	専 攻		学 年	1, 2	総コマ数 (時間数)	69 (104)	単位数	3
到達目標	家畜の改良増殖に係る家畜人工授精業務に関し、必要な知識・技能を習得する。								
指導 内 容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別時間数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 実習		・ 家畜の飼養管理 ・ 家畜の審査 ・ 生殖器解剖 ・ 発情鑑定 ・ 精液精子検査法 ・ 家畜人工授精及び家畜人工授精用 精液の保存		2 3 2	9		3 5 3 4 5 30	隔年実施 (令和8年 度は実施な し) 畜産試験場 各講師
	2 修業試験		・ 生殖器解剖、繁殖生理、精子生 理、種付けの理論、人工授精		3				
	※家畜人工授精師免許取得者については、上記1, 2に替えて 家畜人工授精実践実習を実施する。							69	令和8年度 は実施なし
使用教材		教科書「家畜人工授精講習会テキスト（家畜人工授精師協会）」							
評価の要素		実習成果、資格取得状況、学習態度、出席状況							

番号	92	科目名	畜産専攻実習		区 分		実習				
課 程	畜産		専 攻		学 年	1・2	総コマ数 (時間数)	342・355 (513)・(532.5)	単位数	16・16	
到達目標	実習を通して乳牛、和牛繁殖・肥育、養豚に関する基本的な飼養管理等の農業技術を習得する。										
指導 内 容	大 項 目 (単 元)			小 項 目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等 農業大学校
							講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 基本的な飼養管理技術の 習得			・ 実習を通して、和牛繁殖・肥育に 関する管理技術の習得							
	2 家畜の衛生管理技術及び 対策			・ 衛生管理の習得							
	3 飼料の生産、調製技術と 堆きゅう肥の生産技術の 習得			・ 飼料の生産計画及び利用計画の作 成							
	4 畜産経営の考え方を習得			・ 飼養管理及び出荷販売等を通じ て、畜産経営を体系的に習得す る。							
使用教材											
評価の要素		出欠、技術、勤勉、試問									

番号	93	科目名	畜産経営	区 分	専攻科目（共通科目）				
課 程	畜産	専 攻		学 年	2	総コマ数 (時間数)	10 (15)	単位数	1
到達目標	畜産経営の特性を理解し、畜産経営について各種畜産経営指標を通して評価する能力を身に着ける。さらに、実際の経営計画策定に向けて必要な知識を学ぶ。								
指導 内容	大 項 目 (単 元)		小 項 目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講 義	演 習	実 験	実 習	
	1 佐賀の畜産の現状		1 各畜種の飼養動向 2 各種の経営形態		1				外部講師
	2 各種畜産経営指標		1 肉用牛の経営指標 2 乳牛の経営指標 3 養豚の経営指標 4 採卵鶏・ブロイラーの経営指標		3				
	3 財務諸表の見方		1 損益計算書の見方 2 貸借対照表の見方 3 資金繰り表の見方		2				
	4 畜産経営診断の実際		1 経営診断のやり方 2 経営診断の実際		3				
	5 畜産金融		1 畜産関係の融資制度について 2 畜産関係の補助事業について		1				
使用教材		オリジナルテキスト							
評価の要素		筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	101	科目名	専科PBL演習		区分	教養科目（共通科目）					
課程	全課程		専攻	全専攻	学年	専科	総コマ数 (時間数)	20 (30)	単位数	2	
到達目標	PBLの意義および方法を理解し、主体的に学習へ取り組む姿勢を身につける。 自ら課題を設定し、その背景や要因を情報収集・分析によって明らかにしたうえで、地域社会や現場の状況に応じた解決プロセスと成果を効果的に発信することができる。										
指導内容	大項目 (単元)			小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
							講義	演習	実験	実習	
	課題解決型学習										
	1 オリエンテーション			1 PBLの流れの理解 (Project Based Learning)			2				
	2 情報収集とフィールドワーク			1 問いの立案 2 情報収集 ・調査手法の理解 ・情報の収集			2 2	4			
	3 解決策の立案・検証			1 課題解決へ向けた立案 2 課題解決策の検証				2 4			
	4 成果報告と振り返り			1 成果報告 2 振り返り				2 2			
使用教材		オリジナルテキスト、日誌、パソコン教室、実習施設									
評価の要素		取り組み態度、内容・理解・表現力・態度 等									